

ご存じ真田十勇士



真田風雲録

豊臣秀吉側について戦った真田十勇士の活躍になぞらえて、六〇年安保当時の政治状況、前衛党と学生との姿をわかりやすく描いた戯曲です。若い人たちが集団を組み、戦い、やがてバラバラになっていく。劇作家の福田善之さんが、恐らくいちばん脂が乗っていた時にお書きになったものだと思います。六〇年代を描いたものは、とにかく暗くながりがちですが、『真田風雲録』は人物が跳びはねていた。

一見 歴史劇かと思えるほどで、ボクはわが国の戯曲のなかでは、今でも最高のものだと思う。それまでの新劇に対しての「アンチ」として登場してきたもので、後の「アングラ」劇を手感させる戯曲でもあった。

岡部耕大談

予告

1991年
11月25日～12月4日

岡部耕大 書き下ろし!!

『夢みた夢子』
——美空ひばりになれなかつた女
昭和の清書をしてみせる!!

北沢本多劇場にて堂々公演乞うご期待!!